

科目名	英語	英文表記	English	2017/3/7									
科目コード	4003												
教員名: 青木久美							作成						
技術職員名:													
対象学科/専攻コース	全学科	学年	4年	必・選	必	履修・学修	学修	単位数	2単位	授業形態	講義	授業期間	前期
科目目標 【MCC目標】	<p>精読学習を通じ、文法や構文、語彙を強化するとともに、その内容を日本語や英語で説明できるようになる。必要な場合はtranslateできるようになる。YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速度で読み、概要を把握できるようになる。また授業内だけでなく、授業外でも自律的に読めるようになる。これらの学習を通じて、TOEICに対応できる英語の読解力を身につける。</p> <p>【Ⅲ-B】英語 【IX-A】主体性 【Ⅷ-A】コミュニケーションスキル</p>												
総合評価	<p>評価の割合は以下の通りとし、60%以上を合格とする。期末試験25%、TOEICIP テスト25%、精読課題15%、読書レポート20%、Readingログの記録結果10%、Mreader5%</p>												
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック				セルフチェック					
	50%	① 精読学習を通じて、既習の文法や構文を定着させ、語彙を強化する。(機械C-5、情報C-1、メディアC-3、生物C-2))	定期試験と課題によって評価する	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)							
	25%	② YL20程度の図書を毎分100語以上の速さで読めるようになり、TOEICに対応できる速読力を身に着ける。(機械C-5、情報C-1、メディアC-3、生物C-2))	定期試験と外部テストによって評価する。	YL20程度の図書を毎分100語以上の速さで読み、内容を9割以上理解している。TOEICの換算点が90点以上ある。	YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速さで読み、内容を7-8割理解している。TOEICの換算点が80点以上ある	YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速さで読み、内容を6割程度理解している。TOEICの換算点が60点以上ある							
	25%	③ 授業内外において、自律的に、1週間に6千語以上読書することができる。またその感想を、簡単な英文で書くことができる。(機械C-5、情報C-1、メディアC-3、生物C-2))	読書記録手帳の記録、読書感想文などのレポートで評価する。	授業内外において1週間に多読図書を6千語以上読める。	授業内外において1週間に多読図書を5千語以上読めるようにする。	授業内外において1週間に多読図書を4千語以上読める。							
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4									
	◎	○	○										
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合													
評価項目	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(読書記録・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック						
基礎的理解	①②	25	0	20	60	100							
応用力(実践・専門・融合)	①			10	15	50							
社会的性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					30	30							
主体的・継続的学修意欲	③			10	10	20							
授業概要、方針、履修上の注意	<p>* 英字新聞などから抜粋した、タイムリーな時事問題等を利用した精読、精読を補うための多読をする。</p> <p>* 図書は必ず借りて帰り、授業内外を通じて1週間に6000語以上読むこと。</p> <p>* 自律的かつ継続的に多読に取り組み、年度の終わりまでには、YL20程度の図書を日本語を介さずに1分間に100語以上の速さで読めるようになること。</p> <p>* 読んだ本のタイトル、YL、語数、シリーズ名、感想をReadingログに記録すること。</p> <p>* 時々、Readingログをチェックするので、まとめて書き込まないこと。</p>												

**教科書・  
教材**

- \* 図書館備え付けの図書、プリント、マルチメディア教材
- \* 新・TOEICテスト直前の技術(ALC)
- \* TOEIC公式問題集vol.1-5 (TOEIC運営委員会) (参)
- \* TOEIC公式問題で学ぶボキャブラリー(参)

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時 間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	前期中間試験(行事予定で変更可)				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16	TOEIC演習	4	TOEIC模試を通じてTOEICの形式に慣れる。	TOEIC演習	
17	TOEICIPテスト	4	TOEICIPテストを受験し、自分のレベルをはかる。	TOEIC演習	
18	シラバス解説、Reading	4	シラバスを使って授業の進め方を説明する。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
19	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
20	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
21	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
22	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
23	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
24	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
25	Reading, Translation	4	映画を利用したシャドウイング練習をしながら、英語字幕で映画を理解できるようになる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
26	Reading, Translation	4	英語字幕(映画)で理解した内容を確認しながら、リスニング能力を強化する。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
27	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で平易な物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
28	Reading, Translation	4	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で平易な物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
29	Reading, Translation、映画鑑賞	4	映画を利用したシャドウイング練習をしながら、英語字幕で映画を理解できるようになる。	課題	
30	Reading, Translation、映画鑑賞	4	英語字幕(映画)で理解した内容を確認しながら、リスニング能力を強化する。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	課題	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	TOEIC演習			各2時間×2回	
②	課題			各2時間×28回	
③					
備考欄					
(各科目個別記述)					
・この科目の主たる関連科目は…					

(モデルコアカリキュラム)

・ 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。

(航空技術者プログラム)

・ 【航】は航空技術者プログラムの対応項目であることを意味する。

(学位審査基準の要件による分類・適用)

...

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)